

# KVK デッキ形サーモスタット式シャワー KF801(Z) 〈各仕様共通〉 施工説明書

**施工業者様へ** 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。  
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。  
■この施工説明書はKF801仕様のイラストで説明しています。

## 安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはならない「禁止」の内容です この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です

<b>警告</b>	<p><b>湯水を逆に配管しないでください。</b></p> <p>禁止</p> <p>水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。必ず給水管が右側、給湯管が左側に配管されていることを確かめてください。</p>	<p><b>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</b></p> <p>禁止</p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p><b>加工および接合等の改造はしないでください。</b></p> <p>禁止</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p><b>給湯に蒸気を使用しないでください。</b></p> <p>禁止</p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>	<p><b>配管などの解氷のため、解氷機を使用する場合は、水栓には絶対に通電しないでください。</b></p> <p>禁止</p> <p>通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p><b>寒冷地仕様の場合</b> ストレーナは水抜きまたは清掃以外の目的で開けないでください。</p> <p>禁止</p> <p>ストレーナをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p><b>スチームルームおよび乾燥室にご使用の際は相談ください。</b></p> <p>禁止</p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>	<p><b>温度調節ハンドルの目盛が、吐水温度と合っているか確認してください。</b></p> <p>禁止</p> <p>取付現場の圧力状況により目盛り通りの湯温にならず、やけどをするおそれがあります。</p>	<p><b>ストレーナの清掃は止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。また操作の際は湯側逆止弁付ストレーナが熱くないことを確認してください。</b></p> <p>禁止</p> <p>高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>

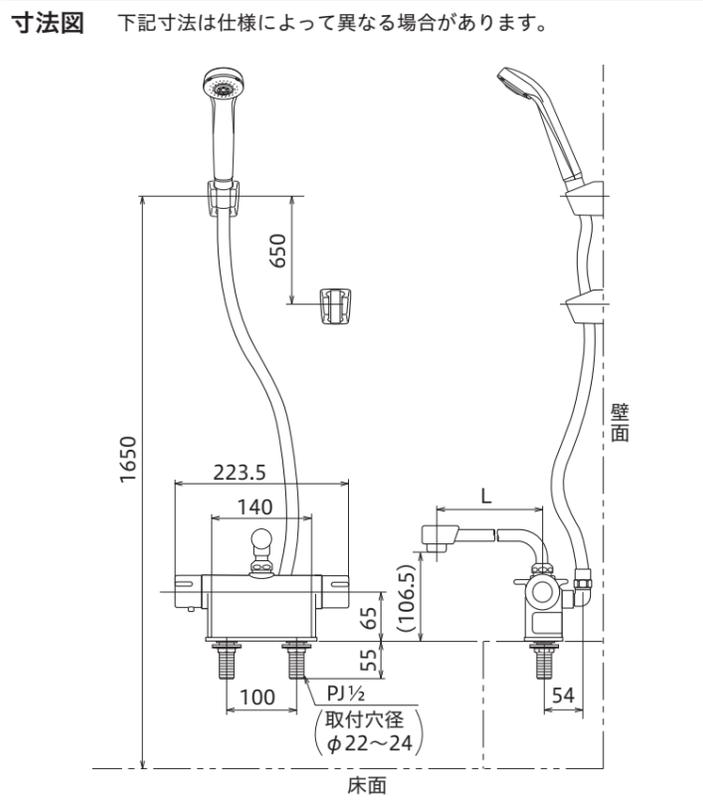
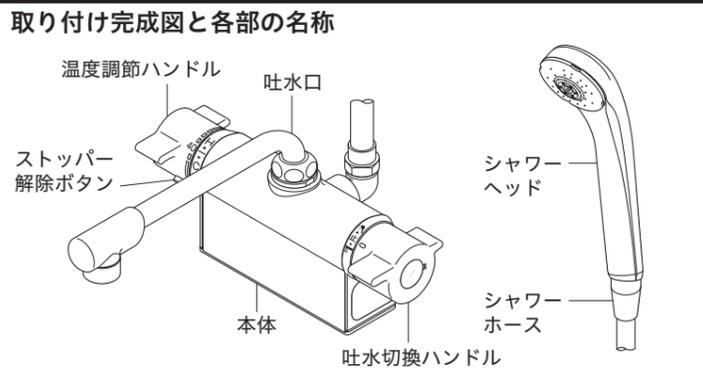
<b>注意</b>	<p><b>器具に強い力や衝撃を与えないでください。</b></p> <p>禁止</p> <p>器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p><b>めっき部品はぶついたり落としたりしないでください。鋭利な物や硬い物を当てないでください。</b></p> <p>禁止</p> <p>めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。</p>	<p><b>めっきシャワーヘッド仕様の場合</b> めっきシャワーヘッドは、公衆浴場・レジャー施設等、不特定多数の方が頻りに利用する場所では使用しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。</p>
	<p><b>めっきの表面が割れた場合は使用しないでください。</b></p> <p>禁止</p> <p>けがをするおそれがありますので、ただちに使用を停止し、新しい部品に交換してください。</p>	<p><b>止水栓取り付け箇所や給水・給湯管との接続箇所は、点検口を設けるなど点検しやすい状態にしてください。</b></p> <p>禁止</p> <p>点検ができないと万一漏水発生時には発見が遅れて家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p><b>凍結が予想される際は、一般仕様をお使いの場合、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。</b></p> <p>禁止</p> <p>水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>

## 取り付け前に

- ① 使用水圧 (A = (給湯器の最低作動水圧) + (配管圧力損失))  
最低必要水圧は、シャワーヘッドの仕様によって異なる場合がありますので、シャワーヘッドの説明書をご確認ください。  
(1) 瞬間給湯器との組み合わせ (設定条件 水温: 25℃ 給湯器温度調節: 高温 吐水温度: 42℃ ハンドル全開) (比例制御式) 最低必要水圧: A+50.0KPa(動水圧)、最高水圧: 0.75MPa(静水圧)  
(2) 貯湯式給湯器との組み合わせ (給湯・給水圧力) 最低必要水圧: A+50.0KPa(動水圧)、最高水圧: 0.75MPa(静水圧)
- ② 吐水切換ハンドルは全開で使用してください。給湯器が着火しない場合があります。
- ③ 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ④ 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ⑤ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑥ 給湯器の給湯温度は、50℃~60℃に設定することをおすすめします。
- ⑦ 給湯器からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑧ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑨ 本製品は、改造(加工および接合等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑩ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

## 取り付け完成図と各部の名称 / 寸法図 / 分解図

この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。



仕様	L寸法
KF801(Z)	190
KF801(Z)R2	240

### 分解図 部品の形状は仕様によって異なる場合があります。

1	キャップ
2	温度調節ハンドル
3	メンテナンスカバー
4	温調カラー
5	温調固定ナット
6	サーモスタットカートリッジ
7	本体
8	切換カラー
9	一時止水付切換弁ユニット
10	切換固定ナット
11	吐水切換ハンドル
12	カバー
13	吐水口リング
14	ブッシュ
15	Xパッキン
16	吐水口
17	パッキン
18	ストレーナ
19	整流器キャップ
20	逆止弁
21	逆止弁(寒冷地仕様)
22	アンダーカバー
23	ねじ
24	シートパッキン
25	パッキン
26	菊座
27	締付ナット
28	シャワーリング
29	シャワーエルボ
30	パッキン
31	シャワーホース
32	シャワーヘッド
33	シャワーハンガー

## 取り付け手順

**1 給水管内の清掃**  
配管工事後、必ず給湯・給水管内のゴミを取り除いてください。

**2 止水栓(別売)の取り付け**  
給湯管と給水管の間隔は100mm程度で取り付けます。  
止水栓はストレーナ付が最適です。寒冷地用は水抜き栓付止水栓を取り付けてください。

ストレーナ付 止水栓(別売)      水抜き栓付 止水栓(別売)

**3 本体の取り付け**  
右図の順に本体を固定します。

【△注意】  
締付ナットの締め付けは、専用工具G4(別売)で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、本体が緩んだり、がたつきが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

【お願い】  
保守点検のため本体取り付け穴から壁面まで75mm以上あけてください。

専用工具 G4(別売)

100 (取り付け穴ピッチ)

75mm以上

本体  
シートパッキン  
取り付け穴(φ22~24)  
パッキン  
菊座  
締付ナット

**4 シャワーホースと吐水口の接続**

① シャワーホースをシャワーエルボに接続します。  
② 吐水口を吐水口接続部に接続します。  
締め付けは、六角の二面幅に合わせてモンキーレンチ等で行ってください。  
【お願い】 締め付ける際は傷が付かないよう、あて布等をしてください。

① シャワーホース  
パッキン  
シャワーエルボ  
吐水口  
Xパッキン  
吐水口接続部

**5 ステッカーの貼り付け**  
使用方法ステッカーを見やすい位置に貼り付けてください。

5 ページ

## 取り付け後の点検と清掃1

**通水確認**

【△注意】水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めに5~6回繰り返し、配管接続部及び水栓から水漏れがないことを確認してください。  
確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

**ストレーナ清掃のお願い**

本体と吐水口のストレーナにゴミ等がたまりますと、吐水量が減ったり、希望する湯温にならない場合があったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

**本体のストレーナ清掃**

【△警告】・ストレーナ付逆止弁の清掃は、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。  
ストレーナ付逆止弁をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。  
・湯側ストレーナ付逆止弁の中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。

① 湯水全開で20~30秒吐水させます。  
② 湯水の止水栓(別売)の止水弁[2か所]または元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。  
③ 各ハンドル下側のメンテナンスカバー[2か所]をはずします。  
④ ストレーナ付逆止弁[左右2個]を取りはずします。  
(ストレーナ付逆止弁の切欠部に⊖ドライバーなどを差し込み、矢印の方向に回し、ゆるめてから取りはずします。寒冷地仕様の場合は、ゆるめてから引き輪を起し取りはずします。)  
⑤ ゴミ・水アカ等を洗い流します。

③ はずす [左右2か所]      ④-1 ゆるめる [左右2か所]      ④-2 はずす [左右2個] ストレーナ付逆止弁      ⑤ 清掃

メンテナンスカバー      切欠部      ストレーナ付逆止弁      ストレーナ付逆止弁

【寒冷地仕様】

清掃後は上記の逆の手順で組み込んでください。  
ストレーナ付逆止弁を締め込む時、吐水切換ハンドルを吐水口側にしてください。

**吐水口のストレーナ清掃**

① 湯水全開で20~30秒吐水させます。  
② 吐水口の整流器キャップをはずす方向にひねって、ストレーナを取りはずします。  
③ ストレーナをブラシで水洗いします。

吐水口      パッキン      ストレーナ3個      整流器キャップ      はずす

歯ブラシなど      ストレーナ

清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

6 ページ

## 取り付け後の点検と清掃2

**サーモスタットカートリッジの清掃方法**

サーモスタットカートリッジにゴミ、水あか、汚れ等が付着しますと、吐水量が減ったり、温度調節がうまくできなくなったりしますので清掃してください。

【△警告】サーモスタットカートリッジの清掃は、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。  
サーモスタットカートリッジをいきなりはずしますと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

① 湯水両側の止水栓(別売)の止水弁[2か所]または元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。  
【お願い】 キャップをはずす際は、傷が付かないようにしてください。  
② 薄手の布を精密ドライバー先端にかぶせます。  
③ 精密ドライバーをハンドルの切り欠き部に差し込みキャップをはずします。  
④ 温度調節ハンドルをはずします。  
⑤ 温調カラーをはずした後、温調固定ナットを取りはずします。  
⑥ サーモスタットカートリッジを取りはずします。  
(はずせない場合は、温度調節ハンドルとキャップをはめた状態で引き抜いてください。)  
⑦ サーモスタットカートリッジをブラシで水洗いします。  
清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。  
【お願い】・組み立て時、温調固定ナットはプライヤー等で確実に締め付けてください。  
・取り付け後は、温度調節ハンドルの目盛と吐水温度が合っていることを確認してからご使用ください。

③ 差し込みははずす      【組み立て時】      ④ はずす      ⑤-1 はずす      ⑤-2      ⑥ はずす

切り欠き      温調固定ナット      プライヤー等      温調カラー      サーモスタットカートリッジ      ⑦ 清掃

【はずせない場合】

1. 温調カラーと温調固定ナットをはずした後、サーモスタットカートリッジに温度調節ハンドルとキャップのみを取り付けます。  
2. 温度調節ハンドルを引き抜きます。

キャップ      温度調節ハンドル      サーモスタットカートリッジ      温度調節ハンドル      歯ブラシなど      サーモスタットカートリッジ

7 ページ

## 取り付け後の点検と清掃3

**温度調節ハンドルの設定方法**

工場出荷時に温度調節をしています。取付現場の圧力状況により目盛通りの湯温にならない場合があります。  
温度調節ハンドルの目盛が吐水温度とズれている場合、温度調節ハンドルをはめ直してください。

【はじめに確かめてください】

- ・止水弁を全開にしているか確かめてください。
- ・ストレーナにゴミづまりがないか確かめてください。
- ・給湯温度50℃~60℃の湯が給湯できているか確かめてください。

① 全開吐水で目盛に関係なく40℃のお湯が出る所まで、温度調節ハンドルを回します。  
【お願い】 キャップをはずす際は、傷が付かないようにしてください。  
② 薄手の布を精密ドライバーの先端にかぶせます。  
③ 精密ドライバーをハンドル切り欠き部に差し込みキャップをはずします。  
④ 温度調節ハンドルを回転させないように取りはずします。  
⑤ ハンドルの「40」の目盛を表示ポイントに合わせてはめます。  
⑥ キャップにて固定します。  
【お願い】 取り付け後は、温度調節ハンドルの目盛と吐水温度が合っていることを確認してからご使用ください。  
※ 目盛は、温度表示ではありません。目盛は、温度調節の目安としてください。

① 温度調節ハンドル      ③ 差し込みははずす      キャップ      ⑥ 固定      目盛「40」

40℃      切り欠き      温度調節ハンドル      表示ポイント      合わせはめる

回さないようにはずす

**流量の調節方法(止水栓は本製品に同梱されていません。別売です)**

流量の調節は右記の方法で行ってください。

止水栓(別売)      湯側止水弁      あける      しめる      あける      しめる      水側止水弁

**故障かなと思ったら…**

修理を依頼される前にお確かめください。  
➡ 取扱説明書「故障かなと思ったら…」参照

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】  
【△注意】修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。  
水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

8 ページ

404265-01